

第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案

- 1 日 時 令和5年10月10日（火）4校時
- 2 学 年 第3学年1組
- 3 単 元 名 人権と共生社会 平等権②
- 4 ね ら い 【教科としてのねらい】
- ・ 平等権にかかわる諸課題について家族の意見も踏まえて多面的にまとめ、発表させる。
 - ・ 共生（インクルーシブ）社会を築いていくために、私たちにはどのような取組や努力が求められているか、身近な学校生活をもとに考えさせる。
- 【人権教育の視点に立ったねらい】
- ・ 家族の思いや友だちの考えに触れることで、人権課題がより身近なものであるという意識を涵養する。日ごろ生活している学校についてより具体的に考えることで、自分たちができることの可能性を広げ、人権課題の解決に積極的に取り組もうとする態度を育む。
- 5 人権教育の内容 市民意識の醸成3－（1）－ア
- 6 評価の観点 【知識・技能】
- 平等権にかかわる人権の諸課題について理解している。
- 【思考・判断・表現】
- 家庭で出た意見、グループワークで出た意見をもとに共生社会の実現に向けた取組や努力について多面的・多角的に考え、グループで集約した内容を発表できる。
- 【主体的な態度】
- ・ グループワークに積極的に取り組むことができる。
 - ・ 学習したことを理解し、自分の課題としてとらえふり返しを行うことができる。

7 展 開

	学習内容	指導上の留意点
導入 5分	<p>【学習目標の確認、前時の内容の復習、課題の返却】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の内容をグループで交流させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの上半分は家庭学習で家族の意見も踏まえて考えさせる。差別的な考えが含まれていないかに注意をはらい、あらかじめ回収・点検したのち取り組ませる。
展開 40分	<p>【インクルージョン、バリアフリーの用語確認】</p> <p>【共生社会を実現していくために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①Keep、②Problemについて個人で考えた後、グループで話し合いを行う。 ・ ③Tryについて個人で考えグループで話し合いを行う。 ・ グループの意見として全体に発表し、意見交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの役割を明確化し、それぞれの役割のもと活発な意見交流と発表ができるよう配慮する。 ・ より実現可能な案を出すように促す。
まとめ 5分	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに本時のふり返しを書く ・ 学習した内容をこれからの学校生活にいかし、より良い稲美中学校をつくりあげていくことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時においてふり返りの内容をフィードバックする。

[別紙②]

【人権と共生社会 平等権②】

教科書 p52~p53

()組 名前()

学習目標: 共生社会を実現するために必要な取組や努力について考え発表しよう。

1. これまでの学習を振り返って...

平等権にかかわる諸課題の中で自分が最も解決したいと思うものとその理由

【 _____ 】

その理由→



その課題を解決するために必要な取組・努力とはなんですか？

2. 稲美中学校が今よりもっと**共生社会**となるために...

① K eep(続けるべきこと)	③ T ry(挑戦すべきこと)
② P roblem(問題点)	

3. 本時のふり返し

稲美中学校人権宣言

前文

稲美中生は、「つながる人、つながる心、つなげる夢・未来」の目標を掲げ、日々の学校生活に一生懸命取り組んでいます。3年間の人権学習では自分の夢に向けた学びを、ふるさとデーでは地域の方とともに稲美町の未来に向けた学びを深めてきました。多くのつながりが生まれ、深まっている一方、多くの解決すべき課題がまだ残っています。

そこで、稲美中学校生徒会は、①稲美中学校で生活している人が、みな笑顔で、それぞれの目標に向けてまっすぐ進めること。②仲間の存在に気づき、仲間とともにわかりあい、愛しあい、伸ばしあい、高めあうこと。③稲美中学校の生徒としての誇りを持ち、多くの人に愛される稲美中学校を受け継いでいき、それを伝統としていくこと。の3つを成し遂げるべく、ここに「稲美中学校人権宣言」を宣言します。

愛

- 一、心から自分を愛し、友達を愛す。
- 一、相思相愛を大切にする。
- 一、お互いたたえ合おう。

志

- 一、強い自分の意志を持ち自分の進む道を拓く。
- 一、目標を高く掲げ、志を高く持つ。

繋

- 一、地域・学校・家族の3つのつながりを大切にする。
- 一、人と人の深いつながりを大切にする。
- 一、SNSを正しく利用する。

美

- 一、学校を愛し、心を込めて清掃活動を行う。
- 一、人を素直に褒められる心を持つ。
- 一、美しいものを美しいと言おう。
- 一、美しい町を保つ。

継

- 一、過去から学び、未来に伝統を受け継ぐ。
- 一、時を超えた絆を持つ。
- 一、そして...「」

【生徒のふり返しより】

- 家族と人権課題について考える機会はあまりなかったので良いきっかけになりました。友だちと話し合いをすると、いろんな問題点やアイデアが出てきておもしろかったです。でも、いざそのアイデアをするとなると簡単にできることもあれば、先生方の協力を得る必要があるものもありました。少しでも良くできる部分はよくしていきたいと思いました。
- ①Keep、②Problem、③Try で考えてみると、今の稲美中学校の様子が分かりやすく理解できました。普段何気なく生活している学校は、良いところもあるけれど、平等権の観点からみるとまだまだ課題はたくさんあることに気付きました。私たちは特に不便なく生活できているとしても、肢体不自由の人が入学してくると本当に生活しにくい学校だと思います。その時のために今考え、動こうとする姿勢が大切なんだと感じました。自分たちはあと半年で卒業しますが、自分のこととして考えていきたいと思いました。
- 平等な社会をつくるという考え方は小学校の時から言われてきたので理解しているつもりだったけど、いざ社会をつくるために必要なことと考えると、なかなか良いアイデアがでてこなかった。わかっているつもりというのが1番危ないなと感じました。
- 自分は今は健康だけど、いつ体が不自由になるかもしれないし、おじいちゃんも耳が遠くなったり歩くのが遅くなったりつまづくことが増えたりしています。障害の有る／無いではなく、自分もいつかは思うように体が動かなくなっていくから、いろんな人が明るく元気に過ごせる社会をつくってほしいと思います。
- 改めて考えてみると、稲美中学校ももっとバリアフリーが進んでいくべきだと思いました。けがして松葉づえで生活している友だちもいるが、それだけでも大変そうです。エレベーターがあればいいですが、すぐにつくものではないので、私たちの意識を変えていくことでより良い稲美中学校をつくってほしいと思います。